



外壁塗装・増改築・新築

マツモト工務店

代表者：代表取締役 松本茂樹

従業員数：11名

事業内容：建築業

URL：http://aksuper.jp/

住宅事業向けクラウドDX導入

－現場管理から社内間接事務に至るまで幅広く業務の効率化と

現場生産性の向上を図るとともに働き方改革にも挑戦する－

☑課題は“超アナログ”で非効率な業務が横行

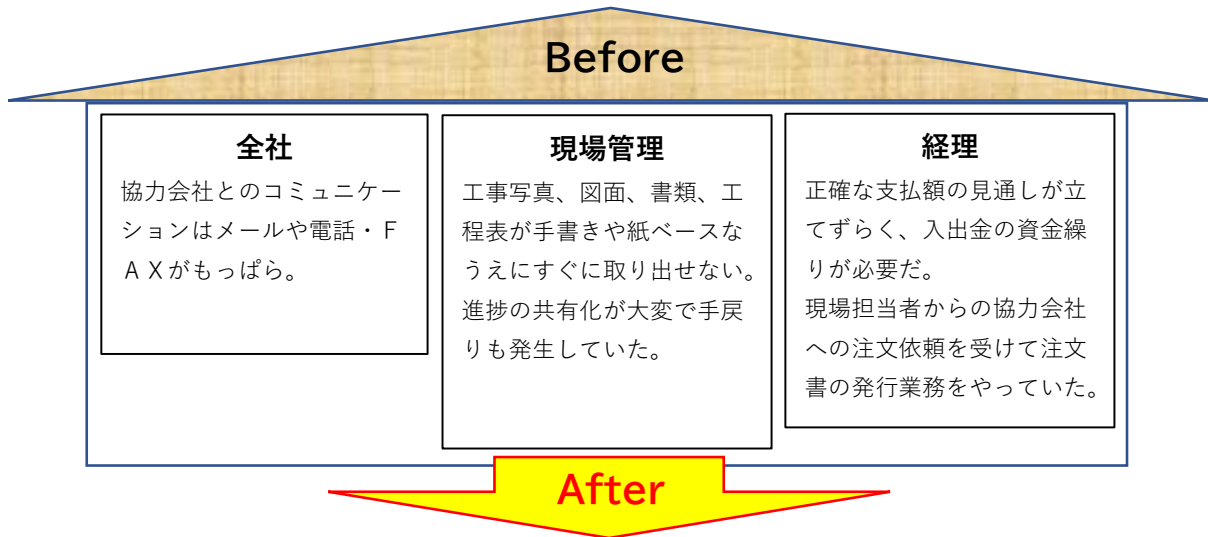
当社は外壁塗装、リフォーム工事が約8割を占めている。

同社と協力関係にある会社は約50社。これら協力企業とともに1つの現場を作り上げていく。現場では、現場監督から協力会社の職人たちに設計図や必要な情報が共有され、それを頼りに職人は自分の持ち場を仕上げていく流れだ。

ところが、彼らとの連絡および施工図面の共有は、電話やFAX、メールなど連絡手段がバラバラで、しかも現場が増えるにつれ「連絡そのもの」にか

かる時間や手間が増大しつつあった。この仕組みでは1人あたりの業務量が注文に応じて増えていくばかりで現場管理や事務スタッフの負担にもなっていた。また、施工件数が増えれば、当然取引先への支払も増えてくる。入出金の日時や取引額を網羅的、且つ正確に管理する重要性も増しており、これらの課題を解決するために新たなシステム検討が急務となっていた。

しかも、ちょっとした連絡ミスがお客様のご満足を損ないかねません。「連絡業務の効率化と確実な意思伝達」、これをどう実現すべきか模索していた。



☑現場ごとの情報共有、工事写真台帳、納品書システムをクラウド上で構築

1

事業計画で**予算統制**と**収益創造**



事業計画、実行予算、工事実績が連動。予算を統制し、収益を創造。

2

工程管理で計画通りの利益確保



実行予算に基づき工程表を作成。現場をしっかり管理することで計画どおりの利益を確保します。

3

積算・予算・工事・経理**一貫処理**



積算、予算、工事、経理までの業務を一貫通費。省力化、生産性向上。

☑導入後の効果

現場の情報を一元管理！

社内はもとより、協力会社間で情報共有を円滑に進めることができ、工事が完成するまでの進捗を管理する仕組みを構築できた。

関係者全員が、施工図面・工事の変更点・現場周辺地図・クレームなどの情報をリアルタイムで共有できるようになり、プロジェクト全体の進捗も全員で把握できる仕組みが整った。

これにより、現場写真、図面、書類、工程表など現場管理に必要な機能がクラウド上でいつでもどこでも閲覧できるようになり、図面や書類がすぐに見つからないなどということを防ぐことができる。

工事現場ごとに支払額を明確化！

建築現場は顧客の都合や天候などに左右されることも多く、突発的なスケジュール変更も頻繁である。これに伴う、毎月の協力会社各社へ支払時期・金額への影響も大きく、正確なキャッシュ・フローの把握は重要性を増していた。「工事の区切り」ごとに協力会社から工事工程の出来高を提出してもらって運用を取り入れた。このことで、変更の多い工事現場でも正確な工程管理ができるようになり、先々の請求支払い額が経理担当でも正確に把握できる仕組みが整った。

☑社長と社員からの感想



株式会社マツモト工務店
代表取締役 松本茂樹 氏

「現場や分譲地全体の状況がリアルタイムに把握できるので、課題の早期発見、迅速な対処ができ安心です。問題点は後になればなるほど、軌道修正が難しくなります」

「経営にとって重要なのは正確な数字とスピードです。」

「会社全体の数字をタイムリーに把握できるから、スピード感と確信を持って経営判断を下せます。」

「収支に関わる重要事項は申請承認で仕事が進捗するので、以前より予実管理が適切にでき、予算と実績のズレもほとんど無くなり、安心して現場を進めることができるようになりました。」



株式会社マツモト工務店
現場リーダー 松本和朗 氏